

TC·HELICON



VoiceTone T1

ユーザーマニュアル

重要 - 安全のために

- 1 必ずお読みください。
- 2 この書類は手の届くところに保管してください。
- 3 全ての警告をお守りください。
- 4 全ての指示に従ってください。
- 5 本機を水気の近くで使用しないでください。
- 6 本体の手入れは、乾いた布で乾拭きしてください。
- 7 換気に必要となる本体の開口部は塞がないでください。本体の設置は、製造者の指示に従ってください。
- 8 ラジエーター、ヒート・レジスター、ストーブ、音響用アンプリファイア等、またそれに限定されないあらゆる熱を発する機器の近くに設置しないでください。
- 9 本機に設置するアクセサリーや装着器具は、製造者指定のもののみをご使用ください。
- 10 本体の点検・修理が必要となった場合は、必ず認定技術者までご連絡ください。パワーサプライのケーブルやプラグが破損した、液体を本体にこぼした、本体シャーシ内に異物が入ってしまった、雨や過度の湿度にさらした、本体の動作異常が生じた、本体を落としたなど、原因に関わらず本機に破損が生じた場合はサービスが必要です。

警告！

- 感電や発火のリスクを軽減するため、本体に水が垂れたり、はねる環境での保管・使用は避け、花瓶等液体の入った物を本体の上に置かないでください。
- 閉じられた空間に設置しないでください。

保守について

本体の保守点検修理は必ず有資格者の手で行なってください。

注意

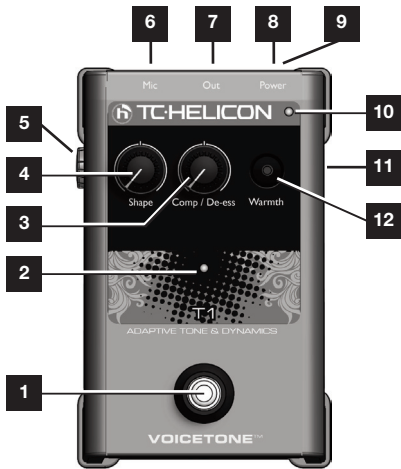
本マニュアルに明示されていない本体への変更・改造を行った場合、本機器を操作する資格を失うことがあります。

(JP) イントロダクション

VoiceTone T1 は、ライブ・ヴォーカル・サウンドを磨き上げるためのスタジオ・グレードのダイナミクスとEQプロセッサです。

VoiceTone T1 は、全てのステージに専属のサウンド・エンジニアがついているような、強い味方となります。貴方のヴォイスに自動的に追従してスタジオ・クオリティのダイナミクスとEQを施し、ヴォーカル・トーンが一番おいしい部分を引き立てます。VoiceTone T1 は、複雑な機材の調節に時間を浪費することなく、ライブ時でもヴォーカルのサウンドにレコーディングのような艶を与えます。

- 超シンプルなオペレーションで瞬時にグレートなヴォーカル・サウンドを実現
- シェイプとコンプレッサー/ディエッサーはセンター・ノッチ付きのノブを採用、中央に設定するだけで標準的な設定を得られます
- 必要な時にだけ適切な塩梅の低周波数を付加する Warmth (ウォームス=温かみ) ボタン
- TC-Helicon MP-75 マイクロフォンを接続することにより、マイクから直接エフェクトのオン/オフを切替可能
- コンピューター接続用の USB 端子を搭載。VoiceSupport アプリケーションからファームウェア・アップデート、ニュース、使用上のヒントなどを入手または閲覧できます
- コンデンサー・マイク用のファンタム・パワーに対応したバランス XLR 入出力端子



- 1- エフェクト・オン/オフ・フットスイッチ
- 2- エフェクト・アクティブLEDインジケーター
- 3- ダイナミクス適用量コントロール
- 4- アダプティブ・シェイプEQ適用量コントロール
- 5- マイク・インプット・レベル・コントロール
- 6- バランスXLRマイク・インプット
- 7- バランスXLRモノラル・アウトプット
- 8- パワー・イン
- 9- コンピューター接続用USB端子
- 10- インプット・レベルLED (緑=信号、赤=クリップ)
- 11- MP-75マイク (別売) 経由のエフェクト切替 (イン=オン)
- 12- ベースにEQを加えるWarmthボタン



接続

MIC (マイク) ジャック - バランス XLR ケーブルでマイクをここに接続します。ファンタム・パワーは常時オンです。

OUT (アウト) ジャック - PA ミキサー、他の VoiceTone ペダル、パワー・スピーカー等の出力先に接続します。

POWER (パワー) イン - 付属の 12VDC パワーサプライをここに接続します。

USB - VoiceSupport をインストールしたコンピューターに接続すると、製品登録、最新バージョン、ティップ等の閲覧操作ができます。



- 接続時には PA を下げてください。
- VoiceSupport の最新版は www.tc-helicon/voicesupport からダウンロードできます。
- USB パワーには未対応です。

初回時のセットアップと使用法

1. PAのマスター・ボリュームを絞りと、インプット・チャンネルのEQをフラット（EQ=オフ）にします。
2. 図の通りマイクとPAに接続してから、ACアダプターを接続します。ライブ・パフォーマンス時には、USB接続は必要ありません。
3. SHAPE（シェイプ）とCOMP/DE-ESS（コンプ/ディエッサー）コントロールをセンター・ノッチに設定します。WARMTH（ウォームス）はオフにします。
4. マイクに向かって歌いながら、LEDが緑に点灯するようにMIC GAINコントロールを調節します。一番大音量の時点で瞬間的に赤く点滅する程度のレベルはOKです。
5. エフェクトがオンになっていることを確認します（センターLEDが点灯します）。
6. 歌いながら、PAのボリュームを適切な音量に上げます。

少々時間が経つと、VoiceTone T1はヴォイスの特性に合わせて設定を内部調整します。歌っている間、設定は常に微調整され続けます。ヴォイスが心地よくブライトでスムーズになるのが確認できるはずです。

ファンタム・パワー

SinglesシリーズのVoiceToneにファンタム・パワーのオン/オフ・ボタンはありません。本体の電源がオンになるとファンタム・パワーが供給されます。ファンタム・パワーを必要としないマイクも正しく作動します。配線時には、必ず事前にPAがミュートされていることを確認した上で電源を最後に接続してください。こうすることで、機材に悪影響を与えうるポップ・ノイズを避けられます。

エフェクト詳細

SHAPE (シェイプ) - 複数バンドのEQ (イコライザ、またはトーン) を調節します。声質に合わせて、明るさを足しながら、音かこもったり濁る原因となるベース周波数を抑えます。Shape をセンター・ノッチより上げていくと、ブライトネスが加わります。

COMP/DE-ESS (コンプ/ディエッサー) - 一つのノブに二つのプロフェッショナルなダイナミクス・エフェクトを集約しています。コンプレッションは、大音量PAなどで耳に痛くなりがちなヴォーカルのピーク成分を抑えます。VoiceTone T1 は、口とマイクの距離に関わらず、適切な量のゆるやかなコンプレッションを施します。ディエッサーは、「サ」「タ」行の耳につきやすい子音を制御してヴォーカルにスタジオの輝きを与えます。

WARMTH (ウォームス=暖かみ) - 特定のベース周波数帯を復元することで、ヴォイスをこもらせることなくふくやかなサウンドに仕立て上げます。

複数台の VoiceTone Single ペダルの同時使用

複数の VoiceTone ペダルを同時に使用することができます。その場合、マイク・ゲインの調節が必要となるのは一台目のみで、二台目以降は全て MIC GAIN ノブを左に回しきった状態で使用します。

ペダルの性能を発揮させるために、接続の順番は重要です。台数と組み合わせによって、次の接続順を推奨します。

2 ペダル： D1 > R1 T1 > D1 C1 > D1 3 ペダル： T1 > D1 > R1 T1 > C1 > R1
 T1 > C1 T1 > R1 C1 > R1 C1 > D1 > R1 T1 > C1 > R1

4 ペダル： T1 > C1 > D1 > R1

VoiceSupport アプリケーション

VoiceSupport は、TC-Helicon 製品をより快適に使用するためのアプリケーションです。製品に新機能を加える等のファームウェア・アップデート等に使用するだけでなく、次の機能を備えています。

- ファームウェア・アップデートや新機能へのアクセス
- ビデオ、アーティスト・プロフィール、活用法等の閲覧
- 製品のユーザー登録

VoiceSupport アプリケーションのインストール方法

1. www.tc-helicon.com/voicesupport から VoiceSupport をダウンロードします。
2. コンピューターに VoiceSupport をインストールします。
3. 製品をコンピューターに USB 接続します。
4. VoiceSupport を起動します。
5. ニュースをご一読後、様々な機能にアクセスするにはウィンドウ上部のタブをクリックします。

マイク・コントロール機能

マイク・コントロール機能により、TC-Helicon MP-75 マイクロフォン（別売）からエフェクトをオン／オフできます。MIC CONTROL スイッチを押すと、接続されている任意のペダルまたは全てのペダルのオン／オフを切り替えられます。マイク・コントロールを行いたくない場合は、スイッチをオフにします。複数台のペダルを同時にコントロールするには、最後のペダルを除く全てのペダルの**コントロール・シグナル・パススルー**機能をオンにする必要があります。この機能をオン／オフするには、エフェクトのフットスイッチとマイクのスイッチを3秒間長押しします。



フィードバック対策

- モニターまたはPAスピーカーをマイク前面に向けないでください。
- マイクに口を限りなく近づけて歌ってください。
- TC-Helicon の MP-55 または MP-75 等、スーパーカーディオイドのダイナミック・マイクをお試しください。
- PA のチャンネル EQ とグラフィック EQ をフラットにしてみてください。
- バンド全体の音量を落としてもらってください。

FAQ

音が歪みます。

MIC GAIN ノブの設定が高すぎるかもしれません。インプット LED が通常グリーンに点灯して、ピーク時に稀に瞬間的に赤く点滅する程度のレベル設定にしてください。

AUX センド／リターンに接続できますか？

接続できます。接続にはバランス XLR-TRS ケーブルをご使用ください。ミキサーからのラインレベルの信号を受け付けるには、MIC GAIN を絞りきってください。


ミキサーに接続する時に DI ボックスが必要となりますか？

必要ありません。

エフェクトのオン／オフが勝手に切り替わります。

この現象は、マイク・コントロール機能がオンで、疑似バランス出力のミキサーに接続している際に起こりえます。マイク・コントロール機能を搭載している TC-Helicon 製のマイクを接続する以外の場合は、マイク・コントロールをオフにしてください。

(JP) 仕様

入力	マイク入力インピーダンス マイク入力レベル@ 0 dBFS EIN @ 最大マイクゲイン $R_g = 150\Omega$ マイク入力 S/N 比	バランス : 2.68 k Ω -42 dBu ~ +1 dBu -126 dBu >104 dB
出力	出カインピーダンス、バランス/アンバランス フルスケール出力 ダイナミックレンジ 周波数特性	200 Ω / 100 Ω +1 dBu >104 dB、20 Hz ~ 20 kHz +0 / -0.3 dB、20 Hz ~ 20 kHz
電源	パワーサプライ (付属) 消費電力	12V .4A  5.6 W
環境	作動環境温度 保管環境温度 湿度	0 $^{\circ}\text{C}$ ~ 50 $^{\circ}\text{C}$ -30 $^{\circ}\text{C}$ ~ 70 $^{\circ}\text{C}$ 最大 90% (結露なきこと)
寸法 & 重量	寸法 : 140x90x60、重量 : 420 g	
保証	www.tc-helicon.com/support 参照	

仕様は予告無く変更となることがあります。